

楽しく作ってみよう

参加
無料

統計グラフワークショップ

「統計グラフ」って何？「統計グラフ」の役割ってどんなこと？
「統計」に関するいろんなギモンを解決して
自分で楽しく「統計グラフ」を作ってみよう

参加者大募集!!

開催日・場所

- 《第1回》令和元年6月8日(土) 唐津市相知交流文化センター(唐津市相知町中山3600番地8)
- 基礎編(小学4年生～6年生) 10時30分から11時30分まで(受付10時15分から)
 - 応用編(小学5年生～中学生、統計グラフコンクール参加経験者)
13時から16時まで(受付12時45分から)
- 《第2回》令和元年6月22日(土) 佐賀市青少年センター(佐賀市松原二丁目2番27号)
- 基礎編(小学4年生～6年生) 10時30分から11時30分まで(受付10時15分から)
 - 応用編(小学5年生～中学生、統計グラフコンクール参加経験者)
13時から16時まで(受付12時45分から)

対象

小・中学生

内容

《基礎編》統計とは何か、グラフの作り方など統計グラフの基本を学びます。
《応用編》統計グラフコンクールへの応募を想定し、テーマに沿って自分で「統計グラフ」を作ってみます。

定員

基礎編・応用編ともに1回25名(定員になり次第締め切り)

申し込み

電話・FAX・Eメールのいずれかで下記の申込用紙の内容について統計分析課へご連絡ください。
TEL: 0952-25-7036 E-mail: toukeibunseki@pref.saga.lg.jp

FAX送信先: 0952-25-7298

このまま切り取らず送信してください。

楽しく作ってみよう 統計グラフワークショップ 申込用紙

	氏名	性別	学校名	学年	希望会場 (○をつけてください)	希望の部 (○をつけてください)
参加者	(ふりがな)	男 女 その他			唐津会場 ・ 佐賀会場	基礎編 ・ 応用編
参加者	(ふりがな)	男 女 その他			唐津会場 ・ 佐賀会場	基礎編 ・ 応用編
参加者	(ふりがな)	男 女 その他			唐津会場 ・ 佐賀会場	基礎編 ・ 応用編
保護者	(ふりがな)					
連絡先 電話番号		FAX		Eメール		

急な連絡をすることがあるので、連絡先電話番号及びEメールアドレスは必ずご記入ください。

◎お申し込み時にいただく個人情報は、ワークショップ開催のためにのみ使用し、それ以外の目的に使用することはありません。

あて先、お問い合わせはこちらへ

佐賀県 総務部 統計分析課 〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号
TEL:0952-25-7036 FAX:0952-25-7298 E-mail:toukeibunseki@pref.saga.lg.jp

さが統計情報館

検索

佐賀県
http://www.pref.saga.lg.jp/

統計グラフワークショップの講師紹介

中村 純一 先生

《講師 プロフィール》

- 佐賀市立大和中学校 英語科教諭
- 「統計グラフコンクール パソコンの部 全国入選8回」
- 「平成12年度 統計功労者表彰 全国表彰」

先生からのひとことメッセージ

昨年参加した児童生徒のみなさんから「楽しくわかりやすい内容でした」「次はお友達も誘いたいです」という声をいただきました。また、参加していただいた方の多くが統計グラフコンクールにも応募されました。今年も児童生徒の皆さんが楽しく学び、人にかかわる統計グラフの作成を目指してお話させていただきます。



担当者からのメッセージ

こんにちは。私は佐賀県庁の統計分析課で、子ども達に「統計」について、楽しく学んでもらうためのお仕事を担当しています。

“統計”、“グラフ”という、言葉だけ聞くと、とても難しく感じるかもしれませんが、でも、統計グラフは自分の面白いと思ったこと、疑問に思ったことを調べて、まとめるときに、とても便利な道具なんです。

統計グラフコンクールは、「自分の好きなテーマについて調べて、必要な数字を集め、グラフにしてみ、分析し、問題を解決する。」という一つの過程を学ぶきっかけとなります。また、入賞すると表彰式での表彰や、全国コンクールへの選出など、子ども達にとって自信につながっているようです。ぜひ、応募をお待ちしています。

「でも、統計なんて分からない…」、「何を調べたらいいの？」という方は、統計グラフワークショップに参加してみたり、統計データフェアに今までの作品を見に来ては、いかがでしょうか。



コラム 統計の学習がもっと重要に！

学習指導要領が改訂され、統計教育やプログラミング教育が重視されます！



小学校では2020年度から、中学校では2021年度から新しい学習指導要領がスタートします。

学校で学んだことが、子ども達の「生きる力」となって、将来につながるように、自ら課題を見つけ、学び、考え、判断して行動できるようにという願いを込め改訂されました。

この「自ら課題を解決する」ために統計の学習が重視されるようになります。

理数教育

観察、実験などによる科学的

に探究する学習活動や、

データを分析し、課題を解決

するための統計教育を充実。

プログラミング教育

コンピュータがプログラムによって動き、社会で活用されていること

を体験・学習。

